

「桜の樹」 ニュースレター vol 18

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」

2023.1



思い出のお正月

凧ちゃん

私は小学生低学年の頃、冬休みを利用して、家族で母の実家のある福島県へ遊びに行きました。高速道路がなかったあの頃、父の運転で4、5時間はかかったでしょうか。

母の実家は兼業農家で、家の側にはいくつかの野菜畑と小さな川のある大きな平屋でした。

庭の隅にヤギ小屋もありました。私はヤギの散歩の手伝いが好きでした。ヤギとふれあうのは楽しく、今思うと本当に貴重な時間でした。

母の実家には、祖母とおば家族の5人が暮らしていました。いとこ姉妹は、私にとっていつも優しい姉の様な存在でした。元旦には、ふた家族全員で大きなテーブルを囲んで、お餅を食べました。茶碗に手作りの山盛りのあんこと、焼きたての大きなお餅が2つ入っていました。美味しく嬉しい気持ちと食べきれずに申し訳ない気持ちがありました。

がんという病気になって、子どもの頃の自分を度々思い出すようになりました。私にも小学生の時代はあって、確かにその時代を生きていたと感じます。

家族との美味しい思い出は、色あせず消せない思い出です。

植木に力をそそいで

いくつかを枯らしてしまった

ミニオン

初心者でもお手軽に育てられます。これを喜んで買ってきました。「大きく育ってくれ。」と思い大きな鉢に植え替えました。「夏なので育ちが早いだろう。」しかし元気がありません。秋になり冬になり枯れてしまいました。

可愛いハートの葉っぱがステキと思い購入。

「お水を沢山あげてください。」と販売店の言葉。指示通りに。そして外置したら一枚、一枚、葉っぱが落ちてしまいました。日陰が好きだったみたい。

そんな中、2年ほとんど何もしていませんが、コケがとてもキレイに成長しています。

置き時計が壊れて、ガラスのドームだけが残り、考えた結果コケにかぶせました。

手入れの仕方でも大きく変わってしまいます。

これからも色々楽しもう。



ミニオンのコケリウム →

コロナ時代を生きる5カ条

- 1 自分の力が人の役に立つと思う時は進んでやれ
- 2 人の欠点を指摘する要はない
人のあやまちは語るには足らぬ
- 3 理由があっても腹をたてぬこそ非凡の人
- 4 感謝は優しき声に表れる
- 5 心がけにより逆境も順境とされる

樋野先生がご講演でお話されているこの5カ条は今年も心がけていきたいです



出雲大社のうさぎの宝船

実はミニオンは生け花がお得意。巣鴨カフェでもお花を活けて下さったこともあります。下の写真はご自宅のお正月の作品です



最初に、このような形で原稿を書かせて頂けること、ここ数年、クリスマスに歌を歌わせて頂けていること、そして何より、お話を聴いて頂き、また聴かせて頂く中で、心を動かされた様々なことに、山本さんをはじめ、スタッフの皆さま、参加者の皆さまに感謝を申し上げます。こう見えても（笑）話すことが苦手で、なかなか心を開くことができない私。そんな私がカフェでお話しなど出来るだろうかと、当初は不安な気持ちでいました。でも、何回目かの参加で父の話をしていたときです。突然涙が溢れ出してきて、そのとき気が付いたのです。まだ癒やされていない心が、何かを語ってほしいとずっと訴えていたのに、私は耳を貸さずに蓋をしていたのだと。それは心がほどけていく瞬間であり、巣鴨にはそれを受け入れてくれるエネルギーが満ちていると気づいた瞬間でもありました。最近、『エネルギー保存の法則』という言葉が気になっています。私が沢山のエネルギーを頂いているということは、それだけ沢山のエネルギーを与えてくれている人や思いがあるということなのではないかと。ドイツのことわざに（共に喜ぶのは2倍の喜び、共に悲しむのは半分の悲しみ）というものがあるとか。私に出来ることは限られているけれど、微力でも無力じゃないと信じて、今度は、どこかで、誰かに、エネルギーをお送りしたいなあと思っています。多様性の時代、誰もが師となり、誰もが弟子となることが出来るのではないかと。であれば何か出来るところがあるかもしれない。そんなことをあれこれと思いながら、これからも様々な出会いと機会に感謝し、自分に出来ること、自分がすべきことなどを考え行動していきたいと思います。巣鴨のカフェには、これからもエネルギーをもらいにお邪魔させて頂くことと思いますが、どうぞ、引き続き宜しくお願い致します。

巣鴨カフェ「桜」 今年からリニューアルします

カフェの会場に巣鴨ときわ教会が加わります。カフェでの出会いから、お借りできることになりました。今後は区民ひろば清和第一が使用できない時、巣鴨ときわ教会で開催します。駅から桜並木をって行く先にある素敵な教会です。

区民ひろば清和第一も巣鴨ときわ教会も、がん哲学外来をご理解下さり、提供して下さっています。皆様のおかげで、巣鴨の地で継続していけることに感謝申し上げます。

ソメイヨシノ発祥の地で桜がその四季折々の変化で人を癒すように、巣鴨カフェも「桜の樹」のようにしっかり根を張り立ち続けていきたい。その願いを叶えるべく、今年も一回一回のカフェを大切に皆さんと紡いでいけたらと思います。

編集後記 さくら（かえる）

凧ちゃん、ミニオン、そしてクリスマスの歌姫、岡田さん原稿をありがとうございます。凧ちゃんは、2回続けて原稿を寄せて下さいました。「書くと、気持ちの整理になって清々しく感じます。」とおっしゃって下さいました。ぜひ次回もよろしくお願い致します。歌姫の「エネルギー保存の法則」は興味深く思います。私たちは歌姫の存在に、そしてその歌に癒されエネルギーをいただいています。ぜひ、またいらしてくださいね。今年もカフェで、そしてこのニュースレターで皆さんと力を分け合っていたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今年も引き続き、皆様の原稿をおまちしております・・・*



編集：岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 山本

gantetu_sakura@yahoo.co.jp
<https://sugamo-sakura.com/>

後援：一般社団法人がん哲学外来